

第5回地域福祉実践研究九州セミナー「ヒュー！日向」

「丸ごと巻き込む実践から、我が事への挑戦」

～丸ごとやってきたこれまでの地域福祉実践から、新たな我が事への挑戦～

2017. **11.18** (土) - **19** (日)

会場：日向市中央公民館

〔主催〕 第5回地域福祉実践研究九州セミナー「ヒュー！日向」実行委員会
日本地域福祉学会九州・沖縄部会
社会福祉法人日向市社会福祉協議会

この日向市で、
地域福祉の“波”に、
「ヒュー！」と、乗って行きましょう！



第5回地域福祉実践研究九州セミナー「ヒュー！日向」開催要綱

「丸ごと巻き込む実践から、我が事への挑戦」

～丸ごとやってきたこれまでの地域福祉実践から、新たな我が事への挑戦～

1. 開催趣旨

少子高齢化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化等により、住民の抱える福祉ニーズが多様化、複雑化してきており、地域における住民の生活不安はますます深刻化しています。

このような社会状況の中で、国レベルでは、「地域共生社会の実現」「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現－新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン－」「我が事・丸ごと地域共生社会本部設置」といった施策を打ち出し、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体化した新たな地域包括支援体制の確立を目指しています。

これらを踏まえ、地域共生社会の実現を確実なものとするため、住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりや市町村における家族全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりが進められています。

本セミナーでは、九州各県の地域福祉を推進する社会福祉協議会、市民活動・NPO・ボランティア団体、地域福祉推進機関・団体、社会福祉施設、行政関係者、研究者等が一堂に集い、これまでの「我が事、丸ごと」の地域福祉実践の検証と交流を深めつつ、地域共生社会実現に向けて研究協議することを目的に宮崎県日向市で開催します。

2. 主催 第5回地域福祉実践研究九州セミナー「ヒュー！日向」実行委員会
日本地域福祉学会九州・沖縄部会
社会福祉法人日向市社会福祉協議会

3. 後援 日向市、九州社会福祉協議会連合会、宮崎県社会福祉協議会
宮崎縣市町村社協連絡協議会、宮崎県社会福祉士会、九州保健福祉大学
日向市区長公民館長連合会、日向市民生委員児童委員協議会
日向市東臼杵郡医師会、日向市・東臼杵郡薬剤師会
日向市社会福祉施設等連絡会、日向市ボランティア連絡協議会
日向市地域福祉コーディネーター連絡会、日向市地域福祉サポーター連絡会
日向商工会議所、日向青年会議所、日向市観光協会、
株式会社ケーブルメディアワイワイ、NHK宮崎放送局、宮崎日日新聞社
株式会社夕刊デイリー新聞社、毎日新聞宮崎支局、朝日新聞宮崎総局
読売新聞宮崎支局

4. 開催日 平成29年11月18日（土）～19日（日）

5. 会場 全体会会場 日向市中央公民館（日向市中町1-31）
分科会会場 大王谷コミュニティセンター（日向市亀崎東4丁目10番地）

6. 対象者 社会福祉協議会役職員、日本地域福祉学会、地域福祉実践研究者
市民活動・NPO・ボランティア団体、地域福祉推進機関・団体、
行政関係者、社会福祉施設、保健・医療機関、学校教育機関、
地域住民組織関係者、民生委員児童委員、学生・大学院生等

7. 定員 300名（先着順）

8. 参加費 参加費 3,000円(大学生及び大学院生無料)
情報交換会 3,500円

9. 日程

1日目 平成29年11月18日（土）13:30～20:00

12:30 13:30 14:00 14:30 15:00 17:15 18:00 20:00

一般受付	開会行事	福祉課題提起	移動	第1分科会 日向市中央公民館	移動	情報交換会 ホテル ベルフォート日向
				第2分科会 日向市中央公民館		
				第3分科会 日向市中央公民館		
				第4分科会 大王谷コミュニティセンター		

2日目 平成29年11月19日（日）9:30～12:00

9:30 9:45 11:45 12:00

オープニング	総括シンポジウム	閉会行事
	分科会報告 45分	
	シンポジウム 75分	

10. 参加申込方法

別紙申込書に必要事項を記入のうえ、日向市社会福祉協議会へFAXにてお申込みください。受付は先着順に行い、定員に達し次第受付を締切らせていただきます。

FAXでのお申込み受付後、事務局より参加費の請求に係る依頼及び参加券を送付いたします。

申込期限：平成29年10月13日（金）必着

11. 情報交換会について

日 時：平成29年11月18日（土） 18:00～20:00
会 場：ホテルベルフォート日向 4階 ゴールデンホール
参加費：3,500円/人

12. 個人情報の取扱い

本研究セミナー「参加申込書」に記載された個人情報は、運営に関する業務以外の目的には使用しません。また、県名・所属名・参加者名・役職名を記載した参加者名簿を作成し、資料に掲載します。

13. 写真撮影

本セミナー開催中、映像記録として動画、写真等の撮影をいたします。撮影した画像は予告なくWeb、広報誌などで使用される場合がありますのでご了承下さい。

14. 宿泊等について

宿泊の手配及び問合せは各自でお願いいたします。

[周辺の宿泊施設] ※参考

名 称	住 所	連絡先
ホテルベルフォート日向	日向市上町 7-3	0982-52-0001
日向第一ホテル	日向市本町 11-5	0982-52-8151
ホテルメリッサ日向	日向市上町 17-7	0982-55-8181
ホテル ルミエール日向	日向市本町 11-1	0982-55-1222
ニューホテルはやた	日向市新生町 1 丁目 99 番地	0982-53-6000
HOTEL AZ 宮崎北日向店	日向市日知屋 14819-16	0982-54-1800
HOTEL AZ 宮崎南日向店	日向市大字平岩 8491	0982-50-3301

※施設の詳細は、お手数ですが施設のホームページ等でご確認をお願いします。

15. お問い合わせ

社会福祉法人日向市社会福祉協議会 担当：成合進也/穴谷修志
〒883-0034 宮崎県日向市大字富高 207 番地 3 日向市総合福祉センター内
TEL：0982-52-2572 FAX：0982-52-9562
E-mail: 812shinya+hyuga207@gmail.com

プログラム

[11月18日(土)] 1日目

12:30～13:30 受付

13:30～14:00 開会行事

14:00～14:30 福祉劇「我が事・丸ごと…」

福祉劇をとおして、“これまで”について整理し、地域共生社会の実現に向けた“これから”の住民主体の地域福祉活動について課題提起を行います。

14:30～15:00 会場移動

15:00～17:15 分科会 (135分)

第1分科会 おせっかいに生きて、がむしゃらに動く

地域に暮らす住民を巻き込まなければ、住民主体の地域福祉とはいえません。だからこそ、地域福祉専門職は、地域に暮らしている住民を福祉活動の担い手として養成し、組織化を図り、地域の生活課題解決に向けた福祉活動を実践することが求められます。

考えるよりまずは動く。活動の結果からフィードバックして、新たな活動をまた作り出す。“動くこと”の連続から生まれる新たな活動実践について共有を図ります。

組織化だけで終わることなく、また、福祉専門職よがりにならない“ごちゃまぜな視点”で、地域住民が主体的に動けるきっかけや手法について考えます。

キーワード 地域福祉コーディネーター／仲間探し／人材育成／組織化／福祉活動応援団
多分野・多職種連携／地域福祉活動実践／ごちゃまぜ／当事者／資源開発
災害対応・支援

ファシリテーター 松崎 亮 氏 (三股町社会福祉協議会)

アドバイザー 川崎順子 氏 (九州保健福祉大学 社会福祉学部 准教授)

事例発表者 事例1) 日向市地域福祉コーディネーター(おせっ会)の実践
報告者: 日向市地域福祉コーディネーター連絡会 関野ゆかり 氏

事例2) 日向市地域福祉サポーター(がむしゃら応援団)の実践
報告者: 日向市地域福祉サポーター連絡会 会長 石田匡明 氏

第2分科会 福祉教育の可能性～未来の地域人をつくる地域共生社会～

2025年問題、さらにその先の2055年…。激動の時代を生きる子どもたちに求められる共に支え合い生き抜く力。コミュニティ・スクール、アクティブラーニング、サービスラーニングなど、教育機関における学びの手法にも変化が生まれてきている中で、福祉教育実践として、今できることは何なのか。

この分科会では、学校における地域を基盤とした福祉教育の実践について協議・検討し、未来の地域人＝子どもたちとともにつくる地域社会の可能性を探ります。

キーワード 地域／担い手育成／福祉教育／学びの連続・継続／アクティブラーニング
サービスラーニング／社会性／市民性／つながり／児童による地域福祉活動
実践自己肯定感／地域の変化

ファシリテーター 大山晃代 氏 （宮崎県社会福祉協議会）

アドバイザー 倉田康路 氏 （西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科 教授）

事例1) 「地域貢献学習を取り入れた福祉教育プログラムの実践」

発表者：社会福祉法人日向市社会福祉協議会 五十川裕真 氏

事例発表者

事例2) 「学校・地域・社協ぐるみで取り組む福祉教育」

発表者：社会福祉法人都市社会福祉協議会 大田勝信 氏

第3分科会 子どもの貧困…いま、地域にできること

貧困や格差が拡大するなか、「子どもの貧困」が社会的に関心を集めています。「子どもの貧困対策の推進に関する法律」や「生活困窮者自立支援法」が制定され、各地にて子どもの貧困対策計画の策定が進められたり、学習支援や子ども食堂の活動が広まったりなど、行政・社協・民間団体・市民それぞれによる、子どもとその親を地域で支える取り組みが活発に進められています。

その一方で、担い手や資金が不足しているなどの様々な課題も表面化し始めています。そこで、これまでの活動実践を改めて共有し、いま、地域に求められている、地域に根ざした子どもの貧困対策について考えます。

キーワード 「家庭の孤立」家庭での虐待・暴力・無関心

「学校の孤立」学校での学力低下・いじめ・無関心

「地域の孤立」誰にも助けてもらえない・助けてと言えない

生活困窮者支援／貧困連鎖／学習支援／支援員／居場所づくり

人との関わり／社会とのつながり

ファシリテーター 永友 仁 氏 （川南町社会福祉協議会）

アドバイザー 川村岳人 氏 （大分大学 福祉健康科学部 講師）

事例発表者 事例1) 「日向市生活相談・支援センター心からの実践」

発表者：社会福祉法人日向市社会福祉協議会 松永茂晃 氏

事例2) 「あらゆる方策を必要とする子ども・若者支援事業への取り組み」

発表者：社会福祉法人うきは市社会福祉協議会 権藤俊介 氏

第4分科会 “つながりの”の連続で、認知症の人にやさしい地域づくり

人口減少、超高齢者社会を迎え、他に類をみない急激な認知症高齢者の増加に伴い、我が国においては認知症施策として「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が全国各地で進められています。認知症の当事者を、認知症の人として一括りでとらえることなく、地域に暮らす住民として、役割を持ち、社会とのつながりのなかで暮らすことができる地域の仕組みづくりが求められています。

認知症の当事者を地域の真ん中において、地域に暮らす人と人、人と資源、資源と資源、といったつながりの連続により進められている地域実践をもとに、一人ひとりを支えることができるこれからの地域実践について考えます。

キーワード 医療・福祉・地域連携／地域包括ケアシステム／早期発見・早期対応
新たな地域拠点／居場所／図書館書籍／読書会／総合相談／認知症予防
つながり／認知症の人と家族の集い認知症カフェ／コミュニティカフェ
共同募金（テーマ型）

ファシリテーター 福永治子 氏 （延岡市社会福祉協議会）

アドバイザー 小川敬之 氏 （九州保健福祉大学 保健科学部 教授）
孔 英珠 氏 （別府大学 人間関係学科 講師）

事例発表者 事例1)「認知症の人にやさしい図書館プロジェクト！」
発表者：社会福祉法人日向市社会福祉協議会 梅田大介 氏

事例2)「テーマ型募金を活用した認知症地域支援の取り組み」
発表者：社会福祉法人高鍋町社会福祉協議会 横田麻美 氏

※第4分科会につきましては、会場が大王谷コミュニティセンターとなります。

住所：宮崎県日向市亀崎東4丁目10番地

18:00～20:00 **情報交換会** （120分）

ホテルベルフォート日向 4階 ゴールデンホール
（〒883-0044 宮崎県日向市上町7-3）

[11月19日(日)] 2日目

9:00～ 9:30 受付

9:30～ 9:45 オープニングムービー

9:45～11:45 総括シンポジウム

「丸ごと巻き込む実践から、我が事への挑戦」

分科会報告 (45分)

シンポジウム (75分)

分科会報告をとおして、一日目の分科会で協議、議論した内容の共有を図り、総括シンポジウムをとおして、参加者が実践について振り返るとともに、これからの地域福祉活動実践の課題を洗い出し、その対応策について考えます。

シンポジスト	九州保健福祉大学 社会福祉学部	准教授	川崎順子 氏
	西南学院大学 人間科学部 社会福祉学科	教授	倉田康路 氏
	大分大学 福祉健康科学部	講師	川村岳人 氏
	別府大学 人間関係学科	講師	孔 英珠 氏
コーディネーター	九州保健福祉大学 社会福祉学部	准教授	山崎睦男 氏
コメンテーター	九州大学大学院人間環境学研究院	教授	高野和良 氏

11:45～12:00 閉会行事